

議員派遣結果報告書

1	名 称	令和7年度鳥取県町村議会議員研修会
2	場 所	湯梨浜町「ハワイアロハホール」
3	期 間	令和7年11月28日(金) 午後1時00分～午後4時00分
4	内容・成果	<p>研 修 1.「地方議員のなり手不足の背景を考える ～議員報酬・議員定数も意識して～」</p> <p>講 師:拓殖大学政経学部社会安全学科教授 河村 和徳氏</p> <p>研修内容</p> <p>1. 改革が求められている地方議会 改革するためのアプローチ</p> <p>① 内なる改革:自分たちのことは自分たちで変えていこう! 議会に対する信頼形成、議会活動の見える化、政策形成能力の向上</p> <p>② 外からの改革:総務省の研究会、議長会からの報告・提言⇒制度改正・法令改正に対する言及</p> <p>2. 地方議会の改革の課題</p> <p>① どのような議会を目指してほしいのか、議員と住民とがコンセンサスをつくる</p> <p>② チェック機能(EBPM)をどこまで高めるか ⇒議員報酬と拘束時間に影響</p> <p>3. 2023年地方自治法の改正のポイント 第89条の改正 地方議会の役割・地方議員の職務等を明確化</p> <p>① 議会とは何か住民に理解してもらうことにつなげる</p> <p>② 議員の責任が重いことを認識してもらう</p> <p>③ 議会に多様な人材が参画できるよう示す</p> <p>3. 議会に対する信頼を高める要素「求められている議会とは」</p> <p>① 効率的な議会</p> <p>② 開かれた議会(多くの声を聞くことのできる議会)</p> <p>③ 政策に強い議会</p> <p>④ 危機に強い議会(危機下でも機能する議会)</p>

		<p>4. 報酬をどう考えるか 報酬審議会のメンバーを考える必要がある 報酬審議会のメンバーは研修し、定期的を開催する必要がある。 報酬は仕事の質と連動する。拘束時間を考える必要。</p> <p>5. 定数をどう考えるか ポイントは委員会の数。議論する組織として適切な規模がある。(6 人から 10 人) 多ければ多いほどよい(多様性の尊重)</p> <p>研 修 2.「住民が求める地方議会・期待される地方議会とは何か」</p> <p>講 師：一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 上席研究員 渡辺 太樹氏</p> <p>研修内容</p> <p>1. 議会とは 議会基本条例に立ち返る 目的は質問・審議・審査を通じて住民の福祉の増進、地域の発達 「住んでよかった、住み続けたい、住みやすくなった」ためにどうするか！ その手段として、一般質問、政策提言、委員会審査、予算/決算審査がある。 だから議会サイクルが重要になる。議会が何が必要か考えていく。 住民の声⇒現状把握⇒地域課題⇒総合計画⇒施策/政策⇒予算(事前検証)⇒決算(事後検証)⇒改善⇒住民の声</p> <p>2. 地域の課題ではなく、 まちの現状はどうなっているのかを把握する そこから政策テーマ・質問すべき課題が見えてくる</p> <p>① どうなっているのか。現状と問題を把握する データで見ると問題が見える 「EBPM」(エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング) 現状の数字を見て、議会としてどうしていくのか！</p> <p>② なぜ、そうなってるのか。原因を深ぼる</p> <p>③ どうしたらいいのか、解決できる課題を特定する</p> <p>④ 政策を検討する</p> <p>3. 必要とされている議会の役割 受動「執行部起点」審議/議決×能動「議会起点」提議/提案</p>
--	--	---

		<p>⇒地域の発達・住民の福祉の向上、地域の住みやすさ</p> <p>成果</p> <p>研修1：議会に対する信頼を高めるため、4 つの機能（効率的、開かれた、政策に強い、危機に強い）を備えた議会を目指す「内なる改革」必要性を深く認識した。</p> <p>議員報酬が仕事の質や拘束時間と連動する課題を再認識し、多様な人材の参画に向けた検討の必要性について理解を深めた。</p> <p>研修2：議会活動の目的が住民福祉の増進と地域の発達にあることを改めて再確認した。また、EBPM の視点を習得し、現状の客観的数字から政策を検討する手法、および議会サイクルの重要性を理解した。</p>
--	--	---

提出期限 令和7年12月19日（金）まで